

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3517 子ども理解と保育・教育相談 [1]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜1限				
教室	D112教室				
代表教員	常田 秀子				
担当教員	常田 秀子				
テーマと到達目標	<p>保育や教育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 子どもの理解に基づく保育士や教師の援助や態度の基本について理解する。</p>				
概要	<p>保育士、教師として、子どもを理解し、それに基づいて保育・教育実践を進めるための基本的な考え方、方法について学ぶ。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当 する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	子どもの共感的理解				対面授業
第3回	保育士と子どもの関わり				対面授業
第4回	子どもの生活と遊び				対面授業
第5回	子ども相互の関わりと関係づくり				対面授業
第6回	集団における経験と育ち				対面授業
第7回	発達における葛藤やつまづき				対面授業
第8回	環境の理解と構成				対面授業
第9回	子ども理解のための観察と記録				対面授業
第10回	子ども理解のためのアセスメント				対面授業
第11回	子ども理解のための職員間の対話				対面授業
第12回	子ども理解のための保護者との連携				対面授業
第13回	発達の課題に応じた援助とかかわり				対面授業
第14回	特別な配慮が必要な子の理解と支援				対面授業
第15回	発達の連続性と幼小連携による支援				対面授業
成績評価の基準	<p>毎回の授業への参加、毎回の課題やコメント、期末の試験で評価する。 授業への欠席や課題未提出が6回以上ある場合は単位を出さないで注意すること。</p>				
履修にあたっての留意事項	<p>授業の資料配布、課題提出、質疑応答などについては、原則として和光ポータルを使用する。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	子どもの理解と援助 清水, 益治/森, 俊之(編) 児童育成協会(監修) 中央法規	教科書(ISBN)	https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000080539
参考文献		参考文献(ISBN)	